

# 糸魚川タイムス

令和4年11月30日掲載

## 相撲や陸上など全国で活躍

桜の名所でもある能生中の校舎(同校提供)



## 糸魚川市立能生中学校



小学校、高校、地域と連携して能生駅前で行っているあいさつ運動(同校提供)

また、糸魚川の学校らしく遠足は神道山や弁天岩、筒石など糸魚川ジョオパークのジョオサイトを訪れている。(参考文献・『能生町史』)

## くびきの<11> 学校物語

### 「SNGS」で地域貢献

糸魚川市能生地域の中学校は昭和22年、旧能生町に能生中、旧木浦村に木浦中、旧能生谷村に能生谷中、旧磯部村に磯部中が開校した。能生中は同35年に能生谷中の一部と木浦中を統合し、能生谷中は能生南中となった。平成5年に能生南中を統合し、能生中としての開校式を行った。

その後、平成22年に磯部中を統合し、「新生」能生中としてのスタートを切った。現在の校舎は平成5年、従

来の校舎西側のグラウンドに建設され、翌年に現在のグラウンドが完成した。築約30年を経た校舎の大規模改修が昨年度に完成した。能生中の特色の一つに部活動の活躍が挙げられる。特設の相撲部は平成21年度に団体で全国優勝に輝いた。翌22年度は全国3位、同26年度は2位と上位を占めている。同年は陸上部が男子リレーで県大会を制覇、全国大会で準決勝に進出した。後発な地域性も活躍を後押ししている。

昨年度、学校の創立30周年を記念して、全生徒で「SNGS」を策定した。これは同校版の「SDGs」として「先手後手」を中心とした地域に貢献する。その一つ「地域に貢献」は、同校の生徒会が中心となり能生小や海洋高、地域と連携したあいさつ運動や、能生地域各所に花のプラントを設置する「花街プロジェクト」の実施。地元で行われている「いといがわコットンプロジェクト」や「マリンフレンズプロジェクト」にも参加している。

### 栄光の記録

新潟県タイ記録達成 43'47 (香川県立丸亀陸上競技場にて)

全国大会 準優勝(徳島県石井町にて) 平成二十六年九月

能生中学校の陸上競技部は、これまで全国大会で優勝したことがなかったが、今年度の全国大会で優勝し、栄冠を手にした。

校内に飾られている部活動の成果を示す「栄光の記録」